

# とつきび

2019/ 8

No.89

発行／最上ふれあい学園

編集／最上ふれあい学園広報委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4467

TEL 0233-45-2236 ・ FAX 0233-45-2011

HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>

Eメールアドレス：[mogamifg@vega.ne.jp](mailto:mogamifg@vega.ne.jp)



## 目次

P 2～3 新園長あいさつ・異動職員紹介

P 4～5 フォトコーナー・スポーツフェスタ

P 6 新入所者の紹介・介護実習受入事業の紹介

サッカー観戦・ボランティア・編集後記

# 就任のご挨拶



園長 松井 平喜  
まつい ひらき

日頃より、最上ふれあい学園をご利用いただいている利用者の皆様はじめ、ご家族の皆様、地域の皆様、そして多くの方々に温かいご支援とご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。このたび、4月1日付けにて、大沼清司前園長の後任として施設長に就任いたしました松井平喜でございます。前施設長同様変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、最上ふれあい学園は、東京都の委託を受けて平成2年に開設した施設であり、緑豊かな広大な自然環境にある福祉施設です。施設の建つ「ふれあいの里」には、当学園の他に小規模多機能型居宅介護事業所「さくら」、「ふれあいの里管理事業所」、相談支援事業所「みらい」があります。これを一体的に豊寿会で経営しております。その中核となる施設である「最上ふれあい学園」は、お陰様で開設から30年目を迎えることが出

となりましたが施設は措置時代の「運営」から「経営」的要素が高まり施設経営も複雑になり経営の舵取りも容易には出来なくなってきました。このように激変する経営環境に対応する為に学園では経営の指標となる中期計画を策定しており現在第8期基本計画の2年目を推進しています。

## 老朽化対策

課題の1つ目とし、施設の老朽化対策が挙げられます。開設30年を迎え、毎年老朽箇所の改修工事等が必要となっています。施設整備には多額の設備投資が必要となる為、中長期の整備計画の基に実施しております。昨年度、既存の訓練棟（朝陽の家、定員12名）の増築を実施し12月に完成致しました。定員13名分の居室の他に、食堂ホール・デイルーム・東京都共同募金会より配分金を頂き特殊浴槽を備えた浴室も整備致しました。増築の目的は、高齢化や障害の多様化への対応だけでなく、施設全体の居住環境の改善を図る事も目的にあり、増築によって本館全ての8畳4人部屋が解消され、1人当たりの居住空間の拡充とプライバシー保護の点など生活の質の向上

上町、山形県、東京都の指導の下に障害者支援施設としての社会的使命を果たすことにあります。またサービスを提供するにあたり人権擁護徹底と虐待は絶対しないという職員一人ひとりの強い意志と、人権擁護に対する組織での取り組みをもって支援にあたっております。

危機管理については、大規模な自然災害時における事業継続計画を含め、火災、事故、怪我、感染症などの未然・再発防止や情報漏洩、不祥事等の防止対策など定期的な訓練と内部牽制の強化を図ると共に管理体制の確認、対策マニュアルの実践を徹底し利用者さんの安全と安心を守って行きたいと思っております。

## 新時代の決意

30年の節目を迎え新たな時代へのスタートを切りました。「和顔愛語」の理念を掲げ新組織の下62名の全職員が一丸となり、利用者さんの笑顔とやすらぎが生れるような支援の充実に新たな決意をもって取り組む所存であります。地域への感謝を忘れず、今後の更なる連携の強化と、より一層頼りがいのある障害者福祉の拠点となるよう、そして

## 最上ふれあい学園の現状と課題

### 利用者の幸福実現と長寿・高齢化対策

来しました。これも偏に関係機関のご指導と地域及び保護者会のご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

昨今、障害のある人の長寿、高齢化が顕著となっております。最上ふれあい学園でも開所当時からの利用者さんが大半を占め、平均利用期間や利用者さんの平均年齢も年々高くなつてきている現状にあります。利用者さんの人格を尊重し意思に寄り添う支援に心掛け社会での自立した生活や社会参加が出来るように、或いは住み慣れた地域、自然環境にある施設の中で安心して、その人らしく生活が出来るよう支援していく事を当園では大切にしております。

### 制度への対応と経営の安定

障害者福祉制度も長年続いた措置時代から、平成15年に支援費制度が導入され大きく制度が転換しました。その後、度も重なる制度の改革により現在の「障害者総合支援法」

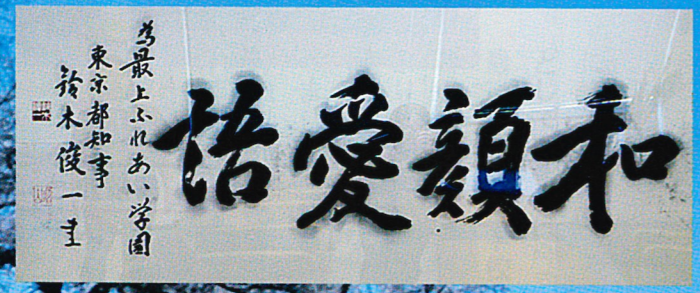
に寄与することが出来ました。この訓練棟の整備については、利用者さんや保護者の皆様方にも大変喜ばれ要介護者や高齢化を迎える利用者さんの将来の安心にもつながりました。今後ますます需要が高まると思われ、予想される医療や介護ですが、事業環境だけでなく福祉サービスの一層の充実にも努めていかなければならないと感じております。

## 人材の確保と育成

課題の2つ目に、人材の確保が挙げられます。施設だけでなく法人全体の課題として挙げられることでありますが、社会的に働き手不足が深刻化される中、福祉業界では人手不足の現実を直視しており経営に支障を来すことも懸念されています。施設での働きやすい職場環境の整備と働く人にとって魅力的な職場づくりを目指し安定した人材の確保と育成が施設の経営には必要不可欠であると考えています。

## 法令遵守と危機管理の徹底

課題の3つ目は、法令遵守と危機管理の徹底です。障害者総合支援法を始めとする、関係法令や制度を遵守し、最



# 異動職員紹介

**●氏名** 松坂 淳子 (まつざか じゅんこ)

**●役職** 看護課長補佐

**●自己PR** 久しぶりにふれあい学園に戻ってきました。健康第一に頑張ります！

**●趣味・特技** 温泉巡り

**●意気込み** ふれあいでは、看護師新人ですのでよろしくお祈いします。早く仕事に慣れるように頑張ります。

**●氏名** 東海林 篤 (とうかいりん あつし)

**●役職** 支援主任

**●自己PR** 5年ぶりにふれあいに異動になりました。新入りのつもりで頑張ります。

**●趣味・特技** 読書

**●意気込み** 一日も早く利用者の皆様に信頼される職員になれるよう努力します。

**●氏名** (氏名不明)

**●役職** (役職不明)

**●自己PR** (自己PR不明)

**●趣味・特技** 神社

**●意気込み** 早くふれあい利用者の方々と楽しく過ごしたいです。よろしくお祈いします。

**●氏名** 佐藤 こそえ (さとう こそえ)

**●役職** 支援主任

**●自己PR** 紅梅荘よりPRして来ました。巡りふれあい学園に慣れて、楽しく生活していきたいです！

**●氏名** 中島 貴瑛 (なかしま たかあき)

**●役職** 支援員

**●自己PR** 今年度より、紅梅荘より異動してきました。

**●趣味・特技** 趣味はスポーツ観戦で、特技はサッカーです。

**●意気込み** 7年ぶりのふれあい学園になり、分からない事も多いですが頑張ります。よろしくお祈いします。

**●氏名** 菅 祐美子 (かん ゆみこ)

**●役職** 支援員

**●自己PR** やすらぎの家より、4年ぶりにふれあい学園に異動になりました。

**●趣味・特技** 子供のスポーツ大会の応援

**●意気込み** 早く仕事を覚えて、利用者さんと楽しく過ごせるように支援していきたいです。よろしくお祈いします。



ありがとうございました



とれないよ～



今年のスローガン



ハイ、ポーズ



がんばれ～



何が入っているかな



# 第30回 スポーツフェスタ

6月8日(土)に第30回スポーツフェスタが、地域住民の方々やボランティアの方々なども含めて総勢約500名の参加者を迎え今年も盛大に開催することが出来ました。午前中の種目は可愛らしい園児の皆さんのお遊戯から始まり、小学生の皆さんや地域・来賓の方々、関連施設のみなさんの弾けるような笑顔にあふれていました。午後の種目は保護者の皆さんと利用者の方々を中心に和やかな雰囲気で行われ、閉会式で大団円となりました。

また、地元の小学校、保育所の統合により、赤倉、富沢両小学校、保育所としての参加は今回が最後となりました。最後に富沢小学校の武田校長先生と、赤倉小学校児童代表の阿部花日未さんより挨拶をいただき、これまでの思い出と共に盛大な拍手の中の退場となりました。赤倉小学校・富沢保育所の皆さん、これまで本当にありがとうございました！



早く、早く～



ほくもほしい～！



よう！スポーツフェスタ



早く食べようよ



えい！とったぞ～



何が釣れるかな？



楽しみ♪お弁当



## 買い物支援



どれにしようかしら



## 観桜会



「おいしいね～」



「おいしいよ！」

## 田植え



皆さん頑張りました

## 新しい仲間が増えました！



かさま けんじろう  
笠間 賢二郎さん

- 入所日／平成31年3月
- 出身地／東京都清瀬市
- 一言／皆さんよろしく  
お願いします

## サッカー観戦に行きました！



6月2日に一般財団法人山形県職員互助会様のご厚意によりモンテディオ山形対鹿兒島ユナイテッドFCのホームゲームを観戦しました。1対0でモンテが勝利し、観戦した利用者さんも「勝ててよかった」「面白かった」等興奮した様子でとても充実した時間を過ごさせていただきました。

貴重な機会を与えていただき、誠にありがとうございました。



## ボランティア

皆様からのたくさんのご厚意、いつもありがとうございます！

6月8日／スポーツフェスタ

- 手をつなぐ育成会6名様（デイ保護者4名）
- 富沢商工会女性部6名様

「平成」2年に開所したふれあい学園ですが、30年の月日を経て「令和」の時代を迎えました。学園の基本理念である「和顔愛語」をこれからも大切にし、令和でも利用者様はもちろんのこと、保護者の皆様、地域の皆様から愛される施設となれるよう努力していきたいと考えております。

現在は1人の天皇で1つの元号とする「一世一元」ですが、明治以前はめでたいことや災害など不吉なことがある度に改められてきました。すなわち元号には希望や願いを込めていたのだと思います。

5月に元号が「平成」から「令和」に変わりました。元号は中国発祥の文化であり、中国文化の影響を受けた朝鮮半島やベトナムでも過去には使われていました。現在では本家中国でも廃止され、元号を公式で使用しているのは日本だけになっています。

## 編集後記

## 介護実習受入事業の紹介



平成10年から教員免許を取得する為には「介護等体験」という福祉施設等での7日間の実習が義務付けられました。学園では平成11年から東京女子体育大学の実習受入が始まり、現在まで約900名の受け入れ実績となり、今年度も95名の実習生を受け入れます。現在、最上ふれあい学園での実習希望者が毎年約250名程となっていますが、施設の諸事情もあり受け入れ人数を100名前後としている為、大学では抽選会により実習者が決定するという全国的にも例のない人気の施設となっています。また、実習プログラムには最上町のPR活動も取り入れている為、学園のみならず最上町の知名度も高くなっているようです。実習生の受け入れは、学生の成長はもちろんですが、利用者様及び職員の成長にも繋がる有意義なものとなっています。また最上町の広報活動や交流事業においても高い経済効果が期待できる事業となっています。

相談支援課長補佐 野桑 義明

